

飯地地域の公共交通空白地有償運送の運行更新について

1. 概要及び目的

飯地地区の公共交通機関の状況は、中学生の通学時間帯に運行する市自主運行バスと、飯地町内及び飯地町内と市自主運行バス中野方線の笠置峡バス停の区間を運行する公共交通空白地有償運送事業「いいじ里山バス」となっている。

市自主運行バスはバス事業者の運転手不足や、利用の低い路線については路線を維持することが困難な状況であり、移動制約者や住民に対する十分な輸送サービスの確保も困難な状況である。これを補完するために、平成 28 年 10 月より飯地地域自治区運営委員会が運行主体となり公共交通空白地有償運送事業を開始した。

この地域で、安心して快適な生活をするために、以前より課題であった高校生の通学手段の確保及び、高齢者の生活の足として徐々に定着している。自主運行バスではカバーできない地域課題に対して、地域住民が主体となって地域の実情に合わせた柔軟な運行を実施することを目的として、公共交通空白地有償運送事業「いいじ里山バス」を市と地域が協力しながら事業を継続する。

2. 運行主体

飯地地域自治区運営委員会（飯地地域自治区協議会の下部組織）

※ 規約・・・別添

3. 運送の区域及び区域内の人口

飯地町地内及び飯地町地内から笠置町「笠置峡バス停」までを区域とする

飯地町の人口・・・590名（令和3年6月1日現在）

4. 運送する旅客の範囲（対象者）

（1） 運行地域内の住民、その親族、その他地域内において日常生活に必要な用務を反復継続して行う者であって、運行事業者において会員登録（名簿作成）を受けた者。

※ 名簿には住所・氏名・その他必要事項を記載する。

（2） 上記（1）の会員名簿に記載されている者の同伴者。

（3） 上記（1）、（2）に掲げる者の他、名簿に記載されていない来訪者又は滞在者のうち地域内において日常生活に必要な用務を反復継続して行う者でない者。

ただし、（3）の旅客については、交通が著しく不便であることその他交通の手段の確保を図ることが必要な事情があることを恵那市長が認めた場合と

して、市内に営業所を有するすべてのバス・タクシー事業者に対して輸送サービスを提供する意思の有無の確認を行い、事業者による輸送サービスの提供が困難であることが確認できた場合に限る。(公共交通会議への報告事項)

5. 運賃(旅客の対価)

- (1) 町内1乗車 片道・・・100円
- (2) 町内から「笠置峡バス停」 片道・・・300円
- (3) 町内から「笠置峡バス停」下車、中野方線に乗り換えて恵那駅への乗り継ぎ
片道・・・500円

6. 運行時刻

別添

7. 運行の車両及び運転手

定員10人乗り車両により運行し、飯地財産区所有の定員8人乗り車両及びNPO法人まんさく所有の定員4人乗り軽自動車で行を補完するものとする。

運転手は、岐阜県自家用有償旅客運送運転者講習を修了した者により運行。

8. 地域内の公共交通の現状

恵那市自主運行バス(飯地線)

※ スクールバス機能併用による時間帯以外に乗車できる時間の運行は無い。

タクシー会社の営業所・待機所など・・・無し

9. 運行更新期間

令和3年10月3日より3年間

